

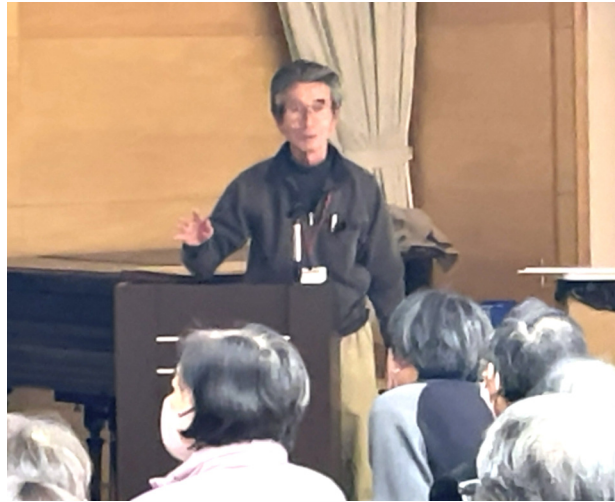
まほらいな市民大学の様子

令和7年2月7日（金）西箕輪公民館 ふるさと講座

## 『地域一体、家族みんなで進める災害への備え』

### ～西箕輪上戸区自主防災会の活動～ 』

講師 上戸区自主防災会部長 宮島 勝 氏



「災害はいつ、どこで、どんなことが発生するかわかりません。いざ災害が発生した場合に備え、住民の協働の精神に基づき、上戸区の住民および地域を守り、災害防止と軽減を図ることを目的として、上戸地区自主防災会が活動します。」こう宮島氏は話をされ、具体的な活動内容を説明されました。安否確認名簿の作成、防災施設及び備品点検、自作のバケツ雨量計の設置とその記録、スマホを使って見ることができる区内防災情報マップと消火栓の使用方法。また上戸区自主防災会ホームページでいつでも情報が得られる等々さまざまな工夫した活動の紹介がありました。課題としては、楽しみながら防災体験を実施して参加者を増やしたいこと。また、役員でなくても『誰もが防災本部になって活動』できるようにしたいといった願いも話されました。

学生からは「凄い活動をされていると思う。区独自でホームページ等で周知を工夫されている点を見習う必要があると思った。」「地区が一体となって取り組まれた実践で感心しました。大事なことなので地元に戻り話題にしたいと思う。」「災害時のトイレで、[自分のものは自分で作る]といった考えや、[誰もが消防本部]といった心構えはとても重要なことだと思った。」「今まで他人事と思ってしまっていた。防災を身近な問題として意識していきたいと思う。」といった感想がありました。